

明治中期山口県漁業経済史研究のための基礎的資料分析*¹児玉 識*²Analysis of the Data of the Coast Fisheries of Yamaguchi Prefecture
at the End of the 19th Century

Shiki Kodama

Since the 200-mile fisheries zone was established, it is often said that coast fishery in Japan should be appreciated again. Recently, however, most people in Japan have little knowledge about coast fishery, for they import most of the fishes from foreign countries. So the author believes that it is necessary to obtain information about fishery in the old days when we were getting most fishes near the coast of Japan. For this purpose, the author tries to analyze the data from the book "Suisanjiko Tokubetsu Chosa"(in Japanese) written in 1891 and the journal "Yamaguchi-ken Kangyo Nenpo" (in Japanese) in 1894. In these, there are many detailed records about the fishes caught at the coast of Japan at that time. From this study, some features of fisheries in Yamaguchi will be found.

はじめに

200カイリ体制に入って以来、当然のことながら、沿岸漁業の見直しが強く叫ばれている。しかし、養殖、輸入水産物への依存度が著しく高くなってきた現在、かつての日本の沿岸でどのような漁業が行われていたかについての知識も非常に乏しいものになりつつあるのが全般的風潮である。こうした傾向が続く限り、沿岸漁業の再生は望むべくもないことで、それに少しでも歯止めをかけるためにも、沿岸漁業の歴史的研究が必要であることはいうまでもない。

といっても、実は私自身は江戸時代の宗教史を専攻するもので、これまで漁業史の研究をしたことはなく、まったく無知であって、これに関して論ずる資格はない。しかし、

無知であるがゆえに、無知なものでも分かり、そして、よりいっそう関心を高めるような書物、論文を読んでみたい気持ちが強い。他地域はともかく、せめて自分の住む山口県についてだけでも、どの海域でどのような魚種がどれくらいとれ、それが日本の漁業経済全体の中でどれくらいの比重を占めていたのか、また、それに依拠していた漁民の経済生活の実態がどのようなものであったかを知りたいものである。しかし、なかなか適当な書物が見当たらない。どうやら現段階では、書物を探すよりも、統計資料を自分で分析するのが一番の早道のようなものである。そう思って、日本の沿岸漁業の最盛期であった明治中期に焦点を絞り、当時の資料を探すことからまず着手したのであったが、今のところ全国的なものとしては「水産事項特別調査」(明治27年

水産大学校研究業績 第1489号, 1994年11月28日受付.

Contribution from Shimonoseki University of Fisheries, No. 1489. Received. Nov. 28, 1994.

*¹ 平成6年12月13日 水産大学校水産談話会にて発表.

*² 水産大学校教養学科人文科学教室 (Laboratory of Humanities, the General Education Division, Shimonoseki University of Fisheries).

刊) 以上に詳しい資料集はなさそうである。

そこで私は、まず本書によって山口県の漁業が全国的視野からみてどのような特色をもっていたかを考え、次いで、同じ時期の山口県内の資料によって、県内各地のそれぞれの地域的特性を少しなりとも明らかにしたいと思立ち、今その分析を進めている。本稿はその作業の過程で知れたことのいくつかを取り上げるもので、ピントはずれの部分も多いかと思う。しかし、沿岸漁業史についての認識を深めるためにはこうした角度からの考察も必要ではないかと考え、無謀のそしりをうけるのを覚悟で敢えて筆をとることとした。

1 「水産事項特別調査」の記述とその活用

「水産事項特別調査」(以下「水産事項」と略記)は明治25(1892)年に農商務省が訓令を発して、各府県において調査せしめた水産事項特別調査の結果を分類、収集したもので、記載内容は明治24年の調査によるものである。調査事項は漁獲物の数量、価格、漁業者の戸数、人口、漁船、漁網数、水産物流通における汽車、汽船の影響、漁労時期等々広範囲におよんでいる。記述は府県単位の場合もあるが、漁獲物は海区単位で、たとえば山口県のように瀬戸内と北浦側の両方の海に面している場合は、瀬戸内は内海区、北浦側は北海区の中の一地域として別々の欄に記されている。

註したがって本稿では、前者を「山口(北海)」, 後者を「山口(内海)」と略記して区別する。

本書の編纂については、二野瓶徳夫氏が「まさに空前絶後の画期的大調査であった。(中略)その内容の豊かさ、適切さには、ただ驚くばかりである」¹⁾といわれているように、大規模で且つ詳細にわたるもので、その資料的価値の大きさは説明するまでもないところであるが、とりわけ私が関心をそそられるのは、本書が編纂された明治20年代は日本の遠洋漁業のおこる直前で、沿岸漁業の最盛期であったことから、沿岸漁業の実態を知るうえで恰好の資料集であると考えられるからである。それだけに、これまでの研究においても本書はしばしば引用されている²⁾。しかし、何分にも膨大な資料集で、内容も多岐にわたっていて、まだまだ本書の分析から新しい事実を引き出す余地は多く残されているように思われる。たとえば、特定地域に的を絞る、それと他地域とを比較検討することによって、その地域の特質を明らかにすることはこれまであまりなされていなかったようであるが、各分野においてそれを試みれば、それだけからでも、これまで知られていない事実が数多く判明

してくる。特に、本書が研究者に多く利用された戦前や戦後の間もない時期とちがって、パソコンの普及した現在では、本書の数値をパソコンに入力し、それを高い数値順に並べかえる、いわゆる「降順ソート」するだけでも、いとも簡単に多くの新事実を把握することが可能である。それは、単に数値を地域ごとに、あるいは漁獲物ごとに多い順に並びかえる、きわめて単純な作業にすぎないが、しかし、先学が多大の労力と時間をかけて探ろうとした事柄を瞬時にして明らかにすることができる。その一例として、山口県における明治中期の捕鯨について判明したことを以下に記してみよう。

表1は、捕鯨による売上額を「降順ソート」して、高い地域順に並びかえて(以下、本稿ではこうした作業を「降順」と略記する)掲げたものである。明治24年の漁業が例年と大差がなかったかどうか分からないが、今、それが例年なみと想定してこの表を見ると(以下、すべてこの想定のもとに論を進める)、まず驚かされるのは、捕鯨で有名な和歌山、北海道、宮城地方よりも、西海の長崎、山口、佐賀の方がはるかに売上額が高いことである。和歌山は網取式捕鯨発祥の地で、捕鯨漁の最も繁盛した地域のようにいわれているし、北海道や宮城の捕鯨も有名であるが、「水産事項」では和歌山は10位、北海道は6位、宮城は最下位である。これが、前代からのアメリカの乱獲によって、クジラ資源が減少していたためかどうか分からないが、ともかくも、これら太平洋側の地域よりも長崎、山口、佐賀といった西海地域の方がまだ相対的に捕鯨が盛んであったと思われる。

では、当時、捕鯨による売上額は全売上額の中でどれくらいのランクにあったのであろうか。それは、長崎、山口(北海)両地域の漁獲種別売上額(表2、表3)から分かるように、ともにその地域内で3位であり、漁業全体の中で捕鯨による収入が非常に大きいものであったことがうかがわれる。ここでの長崎の107,685.33円という価額は、長崎地域の漁獲物総価額の約8%に、また山口(北海)の58,322円は同地区の総価額の約14%に達する額である。

周知のように、日本沿岸で行われていた網取式捕鯨は幕末ころからしだいに衰退し、明治30年代に幕を閉じ、ノルウエー式による遠洋漁業に移っていったのであったが、それに移行する直前においてもなお売上額がこれほど大きかったことは注目すべきであろう。捕鯨は他の漁業とちがって、ごく限られた少数の地域(山口県の場合は大津郡の9地区のみ)で、それも冬から春へかけての数カ月間操業されるにすぎない。にもかかわらず、これだけの売上をあげ

ていることからだけでも、当時、捕鯨がいかに集中的に高い利潤をもたらす業種であったかが察せられよう。ましてや、江戸時代にはこの時代よりはるかにクジラの回遊が頻繁であったといわれており、そのことを思えば、長州捕鯨について、安政3（1856）年の「御内用産物一件」³⁾に「御国益第一」とあるのもうなずけるところである。

では、どれほどの頭数のクジラが捕獲されていたのであろうか。残念ながら「水産事項」には総売上額と総重量のみで、捕獲頭数については記載がない。ただ、山口県大津郡瀬戸崎浦の場合は、明治24年のクジラの捕獲頭数と売上高が多田穂波氏によって報告されている⁴⁾。それによると、同浦ではこの年に11頭がとれ、21,890円の売上となっている。したがって、1頭平均1,990円で、これによって計算すると、この年の山口（北海）全体の捕獲数は29.3頭ということになる。クジラの体長には大小さまざまあり、確かなことはいえないが、いずれにしてもこの数字からあまり大きくははずれてはいなかったとみてよかろう。

とすると、このようなわずかな捕獲頭数であるにもかかわらず、捕鯨が上述のような高収益をもたらしたのはなぜであろうか。いうまでもなくそれは、クジラが他の魚類に比べて巨体であることも一つの理由であろうが、しかしそれだけでないことは表4からだけでも分かる。これは表2に掲げた山口（北海）で売上額の多い上位10の漁獲物を、1貫目当たりの値段の高い順に示したものである。この表から明らかなように、1貫目当たりの値段はクジラが最高である。これは、クジラが単に巨体だから高価なのではなく、平均してどの部分も商品価値が高く、無駄な部分が少なかったことを示唆している。そこで、どの部分がどれくらいの値段で売れたかが問題となるが、「水産事項」の「水産製品」の項には鯨油、鯨髭の売上額も記されていて、山口（北海）の場合、それぞれ3,495円、1,130円があがっている。これ以外に肥料としても売られてたと思われるが、それについては記載がないので分からない。しかしいずれにしても、こうした肉以外の部分も商品として高く売られていたからこそ全体として高価であったのであろう。ただ、上記の額からも分かるように、これら鯨油、鯨髭は全売上額のごく一部にすぎない。したがって、鯨肉そのものが非常に高価であったことも確かである。その理由についての検討はここでは省略し、次にいま一つ山口（北海）で注目されるフカについても記しておこう。

広く知られているように、フカ鱈（ひれ）は中国料理の材料として重宝がられ、俵物として江戸時代には、イリナマコ、干しアワビと共に幕府の中国向け重要輸出品の一つ

であった。そのため長州藩からも多数のフカが徴発され、長崎へ送られていた。そこで、フカの地域別売上額を「降順」してみるに、表5に掲げたようにフカは山口（北海）が2位の沖縄を大きく離して1位である。ここから、長崎に近く、しかも日本一のフカ漁場に恵まれていた長州藩北浦地方は幕府にとってフカ鱈搾取の恰好の地であったと推測される。しかも、先に示した表4からも分かるように、当地方ではフカは単価が高く、山口（北海）全体で第6位（表3）の高収益をあげるほどの魚種であった。したがって、幕府による一方的な独占集荷体制に対し、当地の漁民がさまざまな抵抗をしたのも⁵⁾、漁民の死活にかかわる問題として必然の結果であったと思われる。

以上、山口（北海）のクジラとフカの2例をあげ、「水産事項」の分析を通して、それ以前の歴史的現象がより理解しやすくなる場合が多いことを示した。しかし、こうした分析は単に歴史の理解のためだけでなく、今後の沿海漁業を考えていくうえでも必要な作業であることはいうまでもないところであろう。そこで、以下では他の漁獲物についても同様の観点からの分析を試みてみたい。

表1 クジラの地域別売上額

	(降順 単位：円)
長崎	107,685.330
山口	58,322.000
佐賀	32,597.000
高知	25,781.000
鹿児島	5,811.820
北海道	4,081.000
石川	3,370.000
三重	3,000.000
千葉	2,030.000
和歌山	1,700.000
富山	1,687.000
京都	357.680
大阪	350.000
静岡	252.344
宮城	85.000
計	247,110.174

表2 長崎の漁獲物売上額

	(降順 単位：円)
いわし	241,236.683
するめいか	214,299.166
くじら	107,685.330
かつお	98,812.038
たい	86,853.489
その他(魚)	69,095.826
ぶり	68,304.813
しび	50,350.564
さば	32,919.014

あわび	30,812.315
しいら	29,104.949
はまち	20,518.866
ふか	19,383.908
その他(海藻)	17,868.274
あじ	17,619.186
ほら	17,364.070
こういか	16,978.930
さわら	15,986.646
きびなご	15,755.474
かながしら	15,745.000
えび	13,179.573
その他(貝)	12,652.981
ぐち	11,907.400
ふのり	11,787.611
めばる	11,355.880
わかめ	10,732.011
なまこ	10,588.744
かじき	10,083.242
くろだい	6,365.380
かます	5,825.852
たこ	5,504.015
えそ	5,371.850
きす	5,318.660
このしろ	5,318.520
とびうお	4,593.538
こうなご	3,896.724
いるか	3,525.000
いさき	3,281.275
ところてんぐさ	3,192.831
さんま	2,769.997
こち	2,179.000
あら	2,062.313
ふぐ	1,920.000
えい	1,470.965
たちうお	1,325.000
ひじき	1,114.833
すずき	1,068.050
かに	1,026.250
はも	982.460
かれない	883.320
あまだい	841.316
あげまき	821.800
うに	817.504
あなご	800.560
のり	782.132
さより	712.880
かき	654.142
むつ	640.832
さざえ	606.608
かじめ	569.750
じめき	553.000
あこう	547.200
すけとう	349.000
あおさ	214.368
ひらめ	210.442
まながつお	148.000
あんこう	113.644
あらめ	99.500

とさかのり	94.856
ほうぼう	74.370
いかい	57.700
はまぐり	30.540
はいかい	30.000
にし	24.700
あおのり	22.000
まんぼう	12.150
ししびがい	10.800
ほそめ	10.000
あさり	9.400
しんじゅがい	1.277
総計	1,357,838.287

表3 山口(北海)の漁獲物別売上額

	(降順 単位:円)
たい	65,017.846
いわし	62,722.120
くじら	58,322.000
するめいか	34,256.257
さば	30,874.360
ふか	28,429.165
ぶり	20,552.890
その他(魚)	19,521.350
はまち	16,862.390
しいら	12,764.000
とびうお	9,439.465
しらす	7,939.770
あわび	7,749.486
わかめ	7,221.660
さわら	6,967.787
あじ	4,222.363
あまだい	3,375.347
ほら	2,602.800
その他(海藻)	2,443.830
いさき	2,211.972
なまこ	1,884.580
のり	1,605.250
こういか	1,359.860
めばる	1,352.392
かつお	1,185.640
すずき	1,072.336
えい	1,040.775
えび	995.910
くろだい	956.560
かます	862.900
うみたなご	856.270
その他(貝)	853.644
さより	850.825
きす	829.562
かながしら	751.155
たこ	681.160
さざえ	640.596
あらめ	621.160
ふぐ	568.467
はも	558.415
かれない	515.080
ところてんぐさ	452.393

しび	445.500	和歌山	7,440.800
このしろ	421.460	静岡	7,142.599
あこう	342.500	青森(東海)	5,788.000
あなご	274.319	鹿児島	5,286.655
がるも	258.530	富山	4,708.000
こうなご	201.700	山口(内海)	4,629.186
いいだこ	200.000	新潟	4,329.000
おこぜ	157.300	宮崎	3,746.625
こち	156.620	宮城	3,713.000
かじき	153.000	佐賀	3,656.760
ふのり	131.700	熊本	3,470.600
かに	108.650	鳥取	3,171.657
かわはぎ	106.350	三重	3,117.000
むつ	95.000	徳島	2,808.636
もうお	75.700	神奈川	2,646.000
おご	72.500	石川	2,230.650
えそ	53.300	大分(西南海)	2,105.000
ひじき	52.325	千葉	2,048.108
かじめ	36.300	北海道	1,694.760
はまぐり	29.870	愛媛(内海)	1,474.766
かき	28.048	高知	1,389.000
あら	25.000	岡山	1,313.000
あんこう	12.700	大分(内海)	1,217.000
あおのり	10.200	青森(北海)	1,172.800
いかい	9.728	秋田	1,133.950
はぜ	8.050	福岡(西南海)	1,124.800
ひらめ	5.000	福岡(内海)	1,069.000
とさかのり	0.750	大阪	964.000
あおさ	0.300	愛媛(西南海)	676.583
にし	0.162	福島	582.797
総計	427,121.811	福井	549.000
		岩手	548.600
		京都	494.450
		兵庫(北海)	403.400
		山形	338.000
		兵庫(内海)	332.000
		総計	252,825.261

表4 漁獲物の貫当たりの値段 (山口<北海>)

	漁獲量(貫目)	価額(円)	1貫目当たりの値段(円)
クジラ	199,857.000	58,322.000	0.292
タイ	245,947.259	65,017.846	0.264
ハマチ	82,255.960	16,862.390	0.205
フカ	138,868.240	28,429.165	0.205
ブリ	102,312.192	20,552.890	0.201
スルメイカ	210,940.620	34,256.257	0.162
トビウオ	77,474.790	9,439.465	0.122
シイラ	108,640.833	12,764.000	0.117
サバ	469,843.842	30,874.360	0.066
イワシ	3,547,738.460	62,722.120	0.018

表5 フカの地域別売上額

	(降順 単位:円)
山口(北海)	28,429.165
沖縄	21,072.210
長崎	19,383.908
島根	14,406.000
愛知	12,698.949
茨城	11,525.000
広島	7,839.629
香川	7,455.000

2. 山口県漁業と全国漁業の対比

山口県漁業を考えるまえに、まず当時の全国の地域別売上額を示した表6を眺めてみよう。この表で特に目につくのは、上位にある地域が特定地方に偏していない点である。すなわち、北海道、太平洋、瀬戸内、日本海、九州、四国各沿岸のいずれの地方の地名も上位15位内に見られ、日本の沿岸はどの海域も漁業面であまり偏差がなかったことをうかがわせる。このことだけからでも、当時の漁業が、工業汚染で一部の海域の漁業が大きく衰退した現在からは想像もつかないほど平均化し、それぞれに「生きた漁場」をもっていたであろうと推察される。

この表で、山口県は山口(北海)と山口(内海)に分かれているので、これを合計したものが山口県全体の売上額となるが、それは広島について全国第5位である。山口県

はその後、下関を拠点とする遠洋漁業の発展によって大きく躍進（現在はまた著しく後退）するが、当時もかなりの水産県であったことはこの表からもいえよう。特に、山口（北海）＝北浦地域は全体では第21位であるが、21位までの中では海岸線が最も短い地帯である。このことは、この地域の漁業密度の高さを示すものであり、北浦海域は日本でも有数の豊漁場であったといえるのではなかろうか。

また、北浦地域より海岸線が長いとはいえ、山口（内海）＝瀬戸内地域が北浦以上の収益をあげていたことも、現在からは信じがたいことである。

ところで、この表の上位にある地域ではどのような種類の漁獲物が高収益をもたらしていたのであろうか。表7～表9はそれを探るために、まず山口県より上位にある地域のうち、すでに表2に掲げた長崎を除く北海道、千葉、広島の実漁獲物の売上額を掲げたものである。これらのうち、北海道はニシン、コンブ、タラなど寒冷地のみの特産物が大きな比重を占めているが、他では、特定地域のみにもみられるものではなく、多くの海域に生息、回遊する漁種が概して上位を占めている。このことからして、北海道を除く3地域では漁労生活においても、北海道との間に見られるほどの大きな差はなかったと思われる。といっても、長崎と千葉と広島とでは自然的条件も異なり、各漁獲物の売上比率にも相当の地域差があって、それぞれに特色がある。そこで、いくつかの漁獲物を取りあげ、これら3地域の表と、先に掲げた表3の山口（北海）および山口（内海）のデータ（表10）とを対比させ、山口県漁業の性格について考えてみたい。

最初に、上記3地域での漁獲物別売上額で高い順位にあるイワシについてみるに、山口（北海）では2位、山口（内海）では1位で、3地域と同じ傾向にあることが分かる。次に、山口（北海）で1位、山口（内海）で2位のタイは広島で1位、長崎で5位、千葉では6位である。したがって、これも山口と3地域とではほぼ同傾向といえよう。一方、山口（北海）で3位のクジラはすでに述べたように長崎でも3位であるが、千葉では49位、広島、山口（内海）では0である。そして、山口（北海）で4位のスルメイカは長崎で2位、千葉で4位、広島で14位、山口（内海）で24位。また、山口（北海）で5位のサバは長崎で8位、千葉で5位、広島で20位、山口（内海）で13位。山口（北海）で6位のフカは長崎で12位、千葉で20位、広島で25位、山口（北海）で22位である。

煩雑な記述をしたが、以上のように見てくると、漁獲物の比率において、山口（北海）は長崎と比較的似ているよ

うに思えてくる。そこで、いまま少しこの点を検討するため、千葉、広島、山口（北海）、山口（内海）に、さらに長崎に近い福岡（西南）、佐賀のデータ（表11、表12）を加え、その6地域における漁獲物別売上額の順位をそれぞれ長崎の場合と比較してみよう。表13は、長崎で売上額が上位15位内の漁獲物を1位から順に並べ、それが他の地域でそれぞれ何位になっているかを記したものである。この表からだけでも、長崎で上位にあると同時に山口（北海）でも上位に位置している漁獲物が比較的多いことが理解できよう。しかもその傾向は千葉、広島など、長崎から遠く離れた地域だけでなく、福岡（西南）、佐賀と対比してもいえるところである。大きな順位のちがいは、せいぜい長崎で4位のカツオが山口（北海）で23位、同じく7位のシビ（マグロ）が40位くらいのことである。したがって、山口（北海）では、距離的に長崎により近い地域以上に長崎に似た漁業市場構成が見られたと考えられる。ただ、その理由が、海流の影響によるのか、それとも漁法、漁礁の類似によるのか、私には分からない。識者の教示を得たいものである。

一方、山口（北海）とその北隣りの島根（表14）とを比較すると、ここでは、双方の上位10種のうち、8種が共通している。これは、漁場の自然環境が両者で類似する部分が多いためであろう。

さて次に山口（内海）に目を転じてみるに、海域が接しているため、当然のことではあろうが、広島と傾向が似ている。たとえば、イワシ、タイ、エビが共に上位3位を占めている点で共通である。このうち、イワシとタイが上位にあるのは他でもよく見られることであるが、エビがこれほど上位にあるのは珍しい。そこで、全国のエビの売上額を地域別に「降順」してみたのが表15である。これから分かるように、1位広島、2位岡山、3位山口（内海）と、エビは瀬戸内の山陽側地域が上位を独占している。これら3地域の一つの特色はエビの収入がきわめて高かったことということができよう。

ところで、広島と山口（内海）とで目につく違いは、山口（内海）で4位のエソが広島で31位、広島で5位のノリが山口（内海）で25位となっている点である。そこで、まずエソについてこれまでと同じ方法で地域別売上額をみるに、山口（内海）が群を抜いて高い（表16）。古来、山口県のカマボコは有名であるが、これはこの地方が日本一のエソの産地であったことと無関係ではあるまい。これに反して、広島のエソ売上額は山口（内海）の2割にも満たない。次にノリはどうか。表17を眺めよう。これは予想通り東

京が断然高いが、広島はこれについて2位。山口（内海）は広島の1割にもおよばない。

また、広島のカキは、広島全漁獲物の中では12位だが、カキだけでみると、表18から分かるように全国で1位である。逆に山口（内海）は広島の3%にも達しない。

このようなことから、隣接する広島と比べて、ノリやカキが少なく、エソが高い収益をあげていたところに山口（内海）の一つの特色があったといえよう。

この他、山口（内海）ではスズキが全国で1位、トリガイおよびカワハギがそれぞれ2位であることも見落としてはなるまい（表19、表20、表21）。

山口（北海）ではフカが全国1位、クジラが同2位であることは前節で述べたが、これ以外に表22、表23から分かるようにトビウオ、ハマチもそれぞれ全国2位の売上をあげていたのであるが、現在では地元においてすらそのことを知る人は少ない。

なお、現在、山口県に住むわれわれの感覚からして最も奇異に思えるのは、山口（北海）、山口（内海）ともにフグの売上額が非常に低い点である。すなわち、先の表3、表10から分かるように、山口（北海）では全漁獲物中34位、山口（内海）では44位という低さである。そこで、フグだけの地域別売上額の順位を見るに（表24）、山口（内海）14位、山口（北海）19位で、フグの主産地であったとはとても思えない。これは、あるいはこの年のみ例外的に山口県だけがフグが不漁であったかという気もするが、そうでもなさそうである。というのは、次節で扱う「山口県勸業年報」には明治27年の山口県内の主な漁獲物の売上額が郡ごとに記載されているが、その中にフグについてはいっさい記されていない。フグは当時はまだ「その他」の項目で扱われるくらいにしか売上がなかったのではなかろうか。現在では、フグといえば山口県と相場がきまっているが、そうなったのはいつごろからのことであろうか。あまり古くからのことではなさそうに思えるが、いかがであろうか。

表6 全漁獲物の地域別売上額

	(降順 単位：円)
北海道	7,136,762.022
千葉	2,206,025.975
長崎	1,357,838.287
広島	907,704.458
茨城	890,450.000
新潟	790,017.312
三重	784,348.000
富山	782,284.588
静岡	721,050.805
愛知	589,998.682

鹿児島	588,303.436
神奈川	587,678.000
石川	586,881.247
高知	539,731.000
和歌山	496,875.310
岡山	494,418.830
島根	487,352.000
山口(内海)	464,456.901
熊本	458,932.728
宮城	434,397.160
山口(北海)	427,121.811
岩手	373,399.600
東京	350,366.295
愛媛(西南)	312,377.036
佐賀	305,076.666
福岡(西南)	275,654.140
大分(西南)	274,538.000
福井	272,936.000
香川	268,907.415
宮崎	266,907.996
愛媛(内海)	266,386.406
兵庫(内海)	258,153.818
徳島	228,186.585
大分(内海)	216,841.000
大阪	197,983.900
鳥取	189,970.261
青森(東海)	177,193.000
秋田	162,519.978
福島	154,912.708
京都	137,054.827
青森(北海)	116,213.000
福岡(内海)	107,567.270
山形	85,935.000
沖縄	60,318.798
兵庫(北海)	56,765.760
総計	26,794,794.011

表7 北海道の漁獲物売上額

	(降順 単位：円)
にしん	5,971,361,869.000
こんぶ	438,165,792.000
いわし	307,987,892.000
たら	83,936,561.000
するめいか	66,625,961.000
その他(魚)	54,804,449.000
なまこ	47,445,915.000
しび	31,817,714.000
あわび	19,190,943.000
かき	18,219,000.000
ほたてがい	14,487,000.000
ところてんぐさ	12,822,390.000
こういか	11,730,193.000
ほそめ	11,658,898.000
かれい	6,480,905.000
ほっけ	4,958,838.000
ぶり	4,402,550.000
くじら	4,081,000.000
たこ	3,322,220.000

わかめ	3,192,140.000
もうお	2,720,450.000
さば	2,354,111.000
のり	2,152,715.000
ふか	1,694,760.000
ひらめ	1,670,390.000
ふぐ	1,241,505.000
はも	749,250.000
ふのり	729,387.000
うに	713,700.000
えび	645,000.000
かつお	603,000.000
その他(海藻)	539,000.000
あじ	533,724.000
ほっき	508,000.000
うみたなご	500,000.000
かながしら	481,000.000
しらうお	375,000.000
かに	336,000.000
すずき	318,700.000
はたはた	253,500.000
たい	246,000.000
きす	219,100.000
こち	92,500.000
はまぐり	90,000.000
あんこう	63,200.000
こうなご	60,000.000
その他(貝)	38,225.000
とびうお	30,000.000
いるか	27,000.000
かます	19,600.000
あなご	17,925.000
あら	15,000.000
ひじき	13,000.000
ほや	12,500.000
あさり	3,800.000
しいら	1,400.000
すけとう	1,050.000
総計	7,136,762,022.000

表8 千葉の漁獲物別売上額

	(降順 単位:円)
いわし	551,448,241.000
かつお	396,271,406.000
しび	199,812,330.000
さんま	176,478,325.000
さば	84,471,433.000
たい	63,601,244.000
あじ	62,099,034.000
ぼら	58,280,790.000
ひらめ	53,658,601.000
ばかがい	41,146,314.000
あわび	35,989,946.000
こういか	34,928,220.000
あさり	28,853,924.000
その他(魚)	28,666,289.000
えび	25,867,620.000
はまぐり	23,131,001.000

ぶり	22,207,152.000
このしろ	21,600,286.000
きしゃご	20,642,270.000
たこ	20,505,380.000
ふか	20,482,108.000
ところてんぐさ	17,941,260.000
かじき	16,578,350.000
その他(貝)	14,125,851.000
かれい	12,277,525.000
その他(海藻)	11,497,285.000
さわら	10,099,900.000
すずき	9,712,851.000
こち	8,411,222.000
かに	8,156,852.000
ぐち	7,600,980.000
のり	7,478,450.000
きす	7,061,170.000
ほうぼう	6,941,979.000
あこう	6,469,730.000
いさき	6,432,608.000
するめいか	5,983,000.000
しおふきかい	5,479,551.000
くろだい	5,233,168.000
かます	4,972,764.000
さより	4,570,232.000
あみ	4,527,509.000
あなご	4,504,760.000
かさご	4,061,435.000
とびうお	3,669,325.000
えい	3,608,951.000
わかめ	3,280,950.000
あかがい	3,792,752.000
ひじき	2,274,306.000
かじめ	2,207,751.000
かながしら	2,127,773.000
くじら	2,030,000.000
いたらがい	1,980,000.000
しゃこ	1,878,861.000
むつ	1,809,000.000
うみたなご	1,504,000.000
ぎんぼう	1,494,000.000
ふぐ	1,452,795.000
あんこう	1,255,430.000
めばる	1,197,450.000
さざえ	1,145,825.000
かわはぎ	1,114,000.000
たかべ	1,068,400.000
あらめ	990,000.000
つのまた	970,229.000
いしなぎ	793,750.000
かき	684,500.000
はぜ	608,950.000
あまだい	603,000.000
いいだこ	380,550.000
とさかのり	340,880.000
もうお	332,125.000
しらす	248,000.000
たちうお	216,000.000
にし	202,950.000

しいら	185,800.000
みるくい	180,000.000
まで	175,525.000
かすべ	129,430.000
あら	121,000.000
とこぶし	117,423.000
えそ	85,000.000
おこぜ	82,700.000
いるか	60,000.000
ほつき	58,682.000
はも	56,416.000
たいらぎ	45,000.000
なまこ	38,000.000
こうなぎ	36,600.000
ふのり	32,500.000
ざるぼうがい	31,600.000
あおのり	24,350.000
うみがめ	23,400.000
まんぼう	20,000.000
総計	2,206,025,975.000

まながつお	3,092.176
こうなぎ	2,991.008
かます	2,952.607
その他(海藻)	2,744.100
あかがい	2,583.687
はぜ	2,578.888
あこう	2,491.077
いいたこ	2,428.958
かわはぎ	2,319.679
にし	1,962.708
きす	1,873.885
かに	1,859.640
ひらめ	1,787.893
おこぜ	1,778.320
もうお	1,709.823
はまち	1,444.240
はまぐり	1,200.210
たちうお	1,045.470
さざえ	1,015.816
かながしら	744.837
まで	680.100
しらうお	519.531
しゃこ	262.102
いたやがい	249.273
かすべ	158.622
あおのり	150.000
みるくい	127.610
たいらぎ	111.000
かつお	88.000
がるも	53.500
ほうぼう	23.654
とびうお	20.600
わかめ	4.000
ひじき	1.400
おご	1.375
あおさ	1.100
あんこう	0.640
総計	907,704.458

表9 広島漁獲物別売上額

(降順 単位：円)	
たい	157,248.784
その他(魚)	87,822.076
えび	80,444.783
いわし	53,617.895
このしろ	45,185.899
のり	43,447.340
ぼら	35,669.809
さわら	28,079.528
くろだい	26,812.027
ぶり	25,985.500
とりかい	25,347.009
たこ	23,769.643
かき	21,648.240
あなご	20,801.157
するめいか	20,720.000
こういか	19,953.581
かれい	19,916.094
はも	17,606.768
さより	16,455.895
あじ	9,214.674
さば	8,942.428
ふぐ	8,349.080
こち	8,272.051
すずき	7,860.734
ふか	7,839.629
あさり	6,529.459
ぐち	5,985.837
えい	5,741.426
めばる	4,129.699
なまこ	3,896.091
その他(貝)	3,589.208
にべ	3,566.275
えそ	3,522.312
いかい	3,412.860
うみたなご	3,263.138

表10 山口(内海)の漁獲物別売上額

(降順 単位：円)	
いわし	68,436.036
たい	63,528.406
えび	52,458.631
その他(魚)	24,746.677
えそ	20,180.897
たこ	18,604.456
かれい	15,823.056
こういか	15,710.667
ぼら	13,069.588
いかい	12,465.837
すずき	11,936.281
くろだい	11,379.912
このしろ	10,918.695
さば	8,451.677
はも	8,250.614
さわら	8,197.604
めばる	7,685.361

なまこ	6,084.465
こち	6,011.724
えい	5,554.991
とりかい	5,369.834
あなご	5,182.417
ふか	4,629.186
あじ	4,557.985
するめいか	4,457.593
のり	3,913.932
はまち	3,838.056
きす	3,832.015
かわはぎ	3,103.028
こうなご	2,638.600
ぐち	2,085.184
いいだこ	2,070.074
かます	1,958.344
うみたなご	1,893.054
ひらめ	1,779.685
かながしら	1,742.055
はぜ	1,600.512
おこぜ	1,462.113
にし	1,435.065
わかめ	1,433.134
がるも	1,133.866
さより	1,071.960
もうお	993.600
かに	989.035
ぶり	976.987
ふぐ	880.445
しらす	825.000
その他(貝)	808.990
あさり	781.500
かじき	754.000
しらうお	702.850
まで	666.440
さざえ	601,980
かき	598.775
ほうぼう	561.270
まながつお	527.400
にべ	446.780
たちうお	436.530
あこう	364.000
しゃこ	353.650
いさき	328.500
うに	284.160
とびうお	212.300
はまぐり	148.900
あわび	147.000
あかがい	143.902
ふのり	140.000
その他(海藻)	101.000
あまだい	100.000
かすべ	85.440
ところてんぐさ	80.000
いたやがい	74.170
きびなご	55.125
ひじき	55.000
あおのり	44.000
あんこう	42.425

たいらぎ	35.000
あら	34.500
あみ	20.000
しおふきかい	12.500
ほたてがい	12.150
しび	11.760
いたらがい	3.580
あおさ	0.800
みるくい	0.720
総計	464,456.901

表11 福岡(西南)の漁獲物別売上額

(降順 単位:円)	
いわし	50,771.000
たい	34,402.400
その他(魚)	30,537.000
あげまき	28,100.500
こうなご	12,940.000
このしろ	10,128.000
ほら	9,367.150
するめいか	7,436.500
えび	7,199.000
さば	6,409.000
はまち	5,869.000
ぶり	5,845.000
あみ	5,572.000
かれい	5,105.560
とびうお	4,475.000
めかじや	4,352.550
たいらぎ	3,560.560
ざわら	3,048.000
はぜ	2,807.000
すずき	2,609.460
あさり	2,565.200
いさき	2,145.000
かに	2,056.400
うみたけがい	2,016.160
たちうお	1,904.000
あわび	1,708.000
ぐち	1,707.720
あじ	1,698.000
かき	1,581.000
きす	1,505.000
いいだこ	1,432.200
いしなぎ	1,400.000
たこ	1,377.400
ふか	1,124.800
ざるほうがい	1,090.520
わかめ	809.000
さより	776.000
こういか	755.000
しいら	750.000
うみたなご	632.000
からすがい	582.000
ふぐ	568.000
えい	483.000
なまこ	465.000
くろだい	458.000

くらげ	374.000
めばる	372.000
こち	356.000
わらすぼ	350.960
はまぐり	281.600
まながつお	274.000
あなご	263.000
ふのり	249.000
あこう	187.000
むつ	98.480
きびなご	70.000
にべ	66.000
その他(貝)	65.420
さんま	50.000
さざえ	21.600
のり	18.000
ひらめ	15.000
まで	15.000
おこぜ	8.000
ひじき	6.000
もうお	5.000
あおさ	4.000
はも	2.000
総計	275,654.140

表12 佐賀の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
いわし	33,372.400
くじら	32,597.000
たい	27,631.000
その他(魚)	25,680.053
かます	17,523.500
えび	15,378.730
するめいか	14,679.000
あげまき	11,727.020
ほら	10,431.230
じめき	9,975.800
ぶり	9,550.000
さば	8,787.000
かき	6,650.000
かれい	6,447.460
たちうお	6,264.750
このしろ	5,910.825
あみ	4,015.500
ぐち	3,700.928
ふか	3,656.760
しび	3,545.000
はぜ	3,026.410
あわび	2,993.000
とびうお	2,750.000
めかじや	2,696.000
たこ	2,621.400
あら	2,440.000
こういか	2,434.360
さわら	2,318.500
すずき	2,295.750
くらげ	1,695.500
わらすぼ	1,514.400

なまこ	1,510.220
あじ	1,378.000
かに	1,365.000
かつお	1,360.000
くろだい	1,353.400
うみたけがい	1,287.380
あこう	1,270.000
しゃこがい	1,008.600
こうなご	800.000
こち	782.900
あさり	748.500
たいらぎ	698.150
その他(貝)	694.100
さるぼうがい	634.900
えい	623.000
めばる	607.000
ふのり	505.000
きす	455.480
その他(海藻)	385.000
はまち	350.000
さより	340.000
さざえ	265.000
のり	240.000
わかめ	237.200
えそ	232.260
からすがい	181.500
ふぐ	160.000
いるか	155.000
ところてんぐさ	140.000
ひらめ	139.400
しらうお	120.000
いいだこ	120.000
しらす	100.000
あなご	99.900
ひじき	97.000
まんぼう	87.000
しおふきかい	59.000
おこぜ	50.000
まで	45.000
うに	35.000
きびなご	30.000
いかい	10.000
にし	4.000
かながしら	3.000
総計	305,076.666

表13 漁獲物売上額順位の比較—長崎との対比—

	長崎	山口(内海)	山口(北海)	福岡(西南)	佐賀	千葉	広島
イワシ	1	1	2	1	1	1	4
スルメイカ	2	24	4	7	6	5	14
クジラ	3		3		2	49	
カツオ	4		23		34	2	61
タイ	5	2	1	2	3	6	1
ブリ	6	41	7	11	10	16	9
シビ	7	79	40		19	3	
サバ	8	13	5	9	11	5	20
アワビ	9	63	12	23	21	11	
シイラ	10		9	38		70	
ハマチ	11	26	8	10	48		48
フカ	12	22	6	33	17	20	25
アジ	13	23	15	27	33	7	19
ボラ	14	8	17	6	8	8	6
コウイカ	15	7	21	37	26	12	15

数値は、同段の長崎の魚種が、それぞれの地域で何位にあるかを示す。

表14 島根の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)		
いわし	92,809.000	すずき	1,024.000
するめいか	87,769.000	えい	989.000
さば	46,034.000	あらめ	903.000
たい	45,508.000	いさき	799.000
ふぐ	26,873.000	かます	745.000
しいら	22,189.000	めばる	733.000
ぶり	20,827.000	かに	478.000
ふか	14,406.000	かつお	400.000
その他(魚)	13,024.000	ひらめ	280.000
のり	10,241.000	あら	238.000
はまち	9,024.000	えごぐさ	190.000
その他(海藻)	8,629.000	こち	170.000
あかがい	8,479.000	その他(貝)	154.000
とびうお	8,323.000	はも	140.000
あじ	7,856.000	きす	101.000
わかめ	6,499.000	はまぐり	95.000
ほら	5,954.000	いかい	57.000
さわら	5,635.000	うみたなご	55.000
あわび	5,153.000	いいだこ	49.000
えび	5,109.000	かすべ	28.000
たこ	3,621.000	あなご	25.000
ところてんぐさ	3,429.000	さんま	23.000
しらうお	2,515.000	はたはた	22.000
くろだい	2,004.000	まんぼう	20.000
あまだい	1,923.000	かわはぎ	15.000
かれい	1,791.000	ぐち	13.000
このしろ	1,747.000	かき	11.000
さざえ	1,691.000	とりかい	10.000
かながしら	1,582.000	しび	10.000
なまこ	1,553.000	えそ	7.000
あみ	1,472.000	あんこう	6.000
ほうほう	1,451.000	つのまた	6.000
さより	1,252.000	にし	5.000
こういか	1,250.000	いるか	4.000
はぜ	1,239.000	たちうお	4.000
		むつ	3.000
		おこぜ	3.000

こうなご	3.000
かじめ	2.000
ひじき	2.000
うに	1.000
総計	487,352.000

表15 エビの地域別売上額

	(降順 単位：円)
広島	80,444.783
岡山	61,232.900
山口(内海)	52,458.631
大阪	46,412.500
愛知	40,443.931
東京	30,085.500
千葉	25,867.620
愛媛(内海)	22,395.198
熊本	15,634.093
佐賀	15,378.730
三重	15,248.000
徳島	13,555.460
長崎	13,179.573
富山	12,290.000
香川	11,920.440
兵庫(内海)	11,497.430
和歌山	10,429.540
鹿児島	9,092.900
福井	8,571.000
石川	8,437.845
神奈川	8,318.000
大分(内海)	7,919.000
福岡(西南)	7,199.000
静岡	6,209.826
鳥根	5,109.000
福岡(内海)	4,776.000
愛媛(西南)	2,901.250
大分(西南)	2,867.000
高知	1,779.000
茨城	1,280.000
鳥取	1,057.645
山口(北海)	995.910
宮崎	932.300
北海道	645.000
京都	567.000
山形	450.000
新潟	380.000
秋田	164.708
福島	114.600
宮城	96.000
兵庫(北海)	9.000
沖縄	4.250
総計	558,350.463

表16 エソの地域別売上額

	(降順 単位：円)
山口(内海)	20,180.897
和歌山	13,907.700
愛媛(西南)	8,525.113
高知	6,608.000
大阪	6,529.000
愛知	6,448.979
長崎	5,371.850
広島	3,522.312
大分(内海)	3,345.000
兵庫(内海)	3,140.500
徳島	3,078.895
岡山	1,767.000
愛媛(内海)	967.581
大分(西南)	799.000
三重	676.000
神奈川	498.000
鹿児島	478.418
熊本	303.720
香川	263.640
佐賀	232.260
福岡(内海)	174.550
静岡	173.000
兵庫(北海)	140.000
千葉	85.000
鳥取	69.500
山口(北海)	53.300
京都	39.135
福井	22.000
石川	9.040
鳥根	7.000
総計	87,416.390

表17 ノリの地域別売上額

	(降順 単位：円)
東京	130,428.262
広島	43,447.340
神奈川	37,386.000
静岡	15,075.060
鳥根	10,241.000
和歌山	9,488.800
宮城	7,737.500
千葉	7,478.450
石川	4,768.500
山口(内海)	3,913.932
愛知	3,915.300
岩手	2,799.660
北海道	2,152.715
京都	2,085.000
三重	1,752.000
山口(北海)	1,605.250
新潟	1,207.502
山形	1,142.000
茨城	995.000
福井	798.000
長崎	782.132
高知	689.000

熊本	610.000
兵庫(北海)	558.410
青森(北海)	504.000
鹿児島	492.596
富山	394.000
鳥取	383.250
福岡(内海)	364.000
秋田	320.000
福島	266.799
佐賀	240.000
愛媛(西南)	195.240
愛媛(内海)	184.500
兵庫(内海)	127.700
青森(東海)	107.000
徳島	65.650
大分(内海)	39.000
大分(西南)	20.000
福岡(西南)	18.000
宮崎	6.000
総計	294,064.548

表18 カキの地域別売上額

	(降順 単位：円)
広島	21,648.240
北海道	18,219.000
東京	13,904.000
愛知	8,595.250
佐賀	6,650.000
宮城	5,538.600
岡山	5,335.400
熊本	3,295.700
石川	2,802.000
福岡(西南)	1,581.000
香川	1,444.800
三重	1,103.000
兵庫(内海)	1,058.416
千葉	684.500
神奈川	665.000
長崎	654.142
山口(内海)	598.775
鳥取	573.000
和歌山	440.000
福岡(内海)	365.300
大阪	295.000
静岡	287.400
新潟	198.165
茨城	150.000
富山	119.500
大分(西南)	108.000
岩手	106.000
大分(内海)	101.000
愛媛(内海)	99.400
山形	70.000
徳島	60.600
愛媛(西南)	52.300
福島	47.838
鹿児島	45.200
山口(北海)	28.048

秋田	27.000
京都	15.500
宮崎	15.000
島根	11.000
総計	96,993.074

表19 スズキの地域別売上額

	(降順 単位：円)
山口(内海)	11,936.281
千葉	9,712.851
三重	9,335.000
愛知	8,816.877
宮城	7,922.500
広島	7,860.734
熊本	5,584.462
岡山	4,739.800
神奈川	4,578.000
茨城	3,780.000
石川	3,656.575
大分(内海)	3,589.000
東京	3,455.740
愛媛(内海)	2,811.900
福岡(西南)	2,609.460
佐賀	2,295.750
香川	2,081.950
福岡(内海)	1,937.800
兵庫(内海)	1,838.825
大阪	1,647.500
島根	1,624.000
鳥取	1,383.400
和歌山	1,309.000
山口(北海)	1,072.336
富山	1,068.100
長崎	1,068.050
徳島	1,063.875
岩手	1,048.000
福井	974.000
新潟	895.800
京都	851.120
秋田	810.900
高知	689.000
静岡	659.662
北海道	318.700
宮崎	311.200
鹿児島	309.425
福島	225.974
山形	155.000
兵庫(北海)	136.900
青森(北海)	128.000
愛媛(西南)	53.450
大分(西南)	34.000
青森(東海)	21.000
総計	116,401.897

表20 トリガイの地域別売上額

	(単位：円)
広島	25,347.009
山口(内海)	5,369.834
愛知	5,027.300
大阪	3,245.500
三重	770.000
兵庫(内海)	680.000
宮城	530.000
香川	402.030
和歌山	250.000
神奈川	210.000
東京	100.000
大分(内海)	81.000
鳥根	10.000
熊本	6.240
福岡(内海)	1.000
総計	42,029.913

表21 カワハギの地域別売上額

	(降順 単位：円)
富山	3,224.150
山口(内海)	3,103.028
広島	2,319.679
愛媛(内海)	1,120.144
千葉	1,114.000
神奈川	954.000
愛知	824.424
鹿児島	487.901
大分(内海)	357.000
香川	317.010
静岡	268.640
兵庫(内海)	234.802
岡山	145.000
山口(北海)	106.350
和歌山	100.000
熊本	77.000
鳥取	58.070
三重	57.000
福井	55.000
石川	49.500
兵庫(北海)	15.900
鳥根	15.000
宮崎	15.000
京都	10.000
総計	15,028.598

表22 トビウオの地域別売上額

	(降順 単位：円)
鹿児島	43,893.997
山口(北海)	9,439.465
鳥根	8,323.000
鳥取	8,108.100
石川	7,110.600
長崎	4,593.538
福岡(西南)	4,475.000
宮崎	4,150.000

千葉	3,669.325
沖縄	3,221.770
佐賀	2,750.000
福井	2,143.000
富山	2,008.750
神奈川	1,642.000
福岡(内海)	1,250.000
高知	978.000
三重	694.000
京都	500.000
徳島	493.808
茨城	300.000
和歌山	283.000
熊本	219.000
山口(内海)	212.300
新潟	127.000
静岡	110.000
大分(内海)	109.000
愛知	105.000
兵庫(北海)	64.830
香川	59.700
北海道	30.000
兵庫(内海)	24.000
広島	20.600
岡山	20.000
愛媛(西南)	16.250
愛媛(内海)	14.016
大分(西南)	5.000
総計	111,164.049

表23 ハマチの地域別売上額

	(降順 単位：円)
長崎	20,518.866
山口(北海)	16,862.390
鳥根	9,024.000
和歌山	8,629.500
鳥取	8,335.000
福岡(西南)	5,869.000
福井	4,065.000
山口(内海)	3,838.056
愛媛(西南)	3,266.790
愛媛(内海)	2,177.650
広島	1,444.240
兵庫(内海)	1,218.700
大阪	350.000
佐賀	350.000
香川	140.000
石川	85.000
兵庫(北海)	77.000
大分(西南)	30.000
大分(内海)	15.000
総計	86,296.192

表24 フグの地域別売上額

	(単位：円)
島根	26,873.000
広島	8,349.080
石川	7,699.250
富山	4,745.740
大分(内海)	2,909.000
長崎	1,920.000
愛知	1,875.268
兵庫(内海)	1,565.300
千葉	1,452.795
鳥取	1,441.840
岡山	1,388.200
北海道	1,241.505
福井	1,005.000
山口(内海)	880.445
東京	850.000
愛媛(内海)	694.000
茨城	675.000
新潟	612.400
山口(北海)	568.467
福岡(西南)	568.000
三重	344.000
香川	219.500
福岡(内海)	194.000
山形	168.000
佐賀	160.000
秋田	158.850
宮城	143.720
大阪	106.000
熊本	73.500
鹿児島	51.360
神奈川	39.000
京都	35.000
岩手	25.000
静岡	8.000
福島	4.609
総計	69,044.829

3. 山口県内漁業の分布状況

前節では「水産事項」における売上額の分析を通して、明治中期山口県漁業の諸特質について検討した。しかし、前節ではあくまで山口(北海)、山口(内海)の二つの地域単位の数値で考察しただけで、それ以上にこまかなことは「水産事項」には記されていないため明らかにすることはできなかった。そこで、「水産事項」作成の際に基礎資料となったものを入手したいのだが、今のところそれは見当たらない。ただ、明治27年の山口県漁業については「山口県第11回勤業年報」(明治28年刊、以下、「勤業年報」と略記)に郡、市単位で売上額が記されている⁶⁾。そこで、本節ではこれを前節と同じ方法で分析し、当時の山口県漁業の状

況をいまま少し掘り下げてみていきたい。

まず最初に、各郡の漁獲物売上額合計を「降順」した表25からみていこう。ここにあげている郡のうち、阿武、大津、豊浦、見島の4郡が「水産事項」の区分でいう山口(北海)、他が山口(内海)に当たる。「水産事項」では、前者よりも後者の方が売上の全合計額においてやや上回っていたが、「勤業年報」の明治27年の場合も同じ傾向である。

では、これらの郡・市ではそれぞれどのような特質が見られたのであろうか。表26～表37は県内全部・市での漁獲物別売上額をそれぞれ「降順」したものである。これらの表からさまざまなことが判明してくる。たとえば、表35の大津郡をとりあげてみよう。ここではクジラが突出しているのが目をひく。先にクジラが山口(北海)で高収益をあげていたことを記したが、それはすべて大津郡でとれたもので、その売上額は当郡内2位のイワシの1.8倍もの額であったことがこの表から分かる。この時期、つまり、沿岸の網取式捕鯨から遠洋のノルウェー式捕鯨に転換する直前の明治20～30年ころに大津郡各地でクジラの漁場争論が頻発しているが⁷⁾、これもクジラが当地方で当時なお最高の収入源であったことを知れば理解できるところである。

クジラ以外では、大津郡のみの産物はないが、ただ、カツオは阿武郡と大津郡だけである。

大津郡で上位10位以内に入っている漁獲物のうち、タイ、イワシ、イカ、サバ、アワビ、シイラ、イイダコの7種は豊浦郡でも上位10位以内にあり、また、阿武郡と対比しても上位10種のうち6種が共通しており、これらの地域とは漁業形態の面であまり大差がなかったと思われる。逆に、瀬戸内の大島郡とは、タイ、イワシ、イカが共に上位10位内にあるにすぎない。このことだけからでも、北浦と瀬戸内とで漁業における力点のおきかたにかなりのちがいがあったことが容易に察せられよう。

そこで、どのような漁業がどの郡で盛んだったかをそれぞれ探ってみよう。まず、この年の県内全域での漁獲物別売上額は表38の通りである。そして、この表のうち、クジラは大津郡だけ、また、サケは熊毛郡だけで、しかもこれは例外と考えられるので⁸⁾、この二つを除いた上位10種について、それぞれ郡別売上額を掲げたのが表39～表51である。このうち、表39、40のイワシ、タイは北浦、瀬戸内双方で均等にとれ、格別に突出した郡もない。表41、42のサバ、ブリは熊毛と豊浦がきわだっている。表43、44、46のイカ、フカ、イイダコは圧倒的に北浦が高く、逆に表45のエビ、表47のエソ、表48のタコは断然瀬戸内の各郡が上位を独占している。なかでも、エビ、エソが、瀬戸内の中で

も東部に比べて総漁獲高の低い中、西部に多いのが注目される。前節で見たように、山口（内海）は全国一のエソの産地であるが、そのエソの大半は赤間関、佐波、厚狭、吉敷でとれていたのである。

この他、前節でスズキが山口（内海）は全国1位であることを指摘したが、これは表49から分かるように瀬戸内東部に多い。また、この地域のカワハギ、トリガイ、メバルがそれぞれ全国2位であることも前節で記した。このうち、カワハギ、トリガイについては「勤業年報」に記載がないので分布状況が分からないが（おそらく、売上額が相対的に低く、「その他」の項に入っているのであろう）、メバルは表50に見られるように大島、都濃、玖珂、熊毛と東部に多い。

また、山口（北海）でトビウオが全国2位であることも先に指摘したが、その分布状況は表51の通りで、同じ山口県でも瀬戸内では微々たる額にすぎず、漁業環境の違いがここでも歴然としている。

さて、以上のように山口県内の漁業状況を郡単位にまで絞って見てきた。そこで次は、郡内のどの浦で、どのような種類のものが、どれほどとれていたかを明らかにしていきたいのだが、残念ながら県内全域にわたって、これ以上細部についてまで統一的に記された資料にはいまだ接したことがない。ただ、「水産事項」には、漁業者の戸数が市・町・村単位ではなく、それ以下の大字ごとに記されており、これによって、実際に漁業を行っていた各漁浦の人的規模を比較することはできる。しかも、漁業だけでなく、採藻、水産製造業者の戸数も記されており、これによって、各郡内でも特にどの地域が漁業、採藻、製造業各分野で優勢であったかを知る目安を得ることがある程度可能となるであろう。そこで、山口県内の漁業、採藻、水産製造各業の専業者戸数を「降順」したのが表52、表53、表54である。

これらの表から、たとえば県内で漁業が特に盛んだったのは、熊毛郡では長嶋、阿武郡では椿郷東分、大津郡では瀬戸崎であったらうと推定できる。このうちでも1位の長嶋（現・上関町）は、今、原発問題で町中が大きく揺れ、漁業の将来が危ぶまれているところであるが、ここが100年前、県内で最も多数の漁業者を擁した一大漁村であったことを知る人は地元にもほとんどいない。

また、表53によると、豊浦郡彦島（現・下関市彦島）は採藻の占業者戸数が県内1位で、採藻業の一大拠点であったと思われるが、これも工場群の林立する現在の彦島からは想像もできないことである。

この他、漁業は都濃郡で福川、大島郡で沖家室、吉敷郡

で秋穂、豊浦郡で小串、厚狭郡で須恵、赤間関で伊崎、佐波郡で富海、玖珂郡で室木がそれぞれ最も経営規模が大きかったことがこの表からうかがわれる。

ところで、「水産事項」には戸数とともに各浦での主な漁獲物名も記されている。しかし、記述が不統一で、1、2種しかあげてない場合も多い。それに、浦単位での漁獲量も売上額も記入されておらず、詳細を知ることはできない。

ただ、山口県文書館には「水産慣例原稿」や「漁網取調書」、「魚市場慣行調」など、主な漁浦の漁獲物、漁期、漁具、漁法、漁業慣行等を綿密に記した明治10年代～30年代の記録類が多数収められている。したがって、主な漁浦については、売上額は分からないものの、当時の漁業状況を相当に詳しく知ることができる。

こうした類の漁業資料がおびただしく多く残されていることから、当時の県が漁業の実態把握に非常に力を入れていたことが伺われるが、これらの資料と本稿で掲げた「水産事項」や「勤業年報」の数値とを合わせて考察すれば、各浦々の状況もかなり立体的に理解することが可能となるであろう。しかしそれは、資料の量が膨大だけに、容易な作業ではなく、本稿での分析はこれまでにとどめ、これ以上の検討は後日を期したい。

表25 山口県漁獲物の郡別売上額

	(降順 単位：円)
阿武郡	155,493.000
熊毛郡	155,024.000
大津郡	153,061.000
豊浦郡	146,326.000
大島郡	103,665.000
都濃郡	66,496.000
佐波郡	63,990.000
厚狭郡	50,342.000
赤間関市	38,673.000
吉敷郡	29,825.000
玖珂郡	27,531.000
見島郡	9,126.000
計	999,552.000

表26 玖珂郡の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
その他	8,041.000
たい	4,827.000
いわし	3,205.000
つけがい	2,375.000
かれい	1,479.000
ほら	1,418.000
すずき	1,372.000
めばる	1,238.000
たこ	1,173.000
このしろ	693.000
えび	548.000
あじ	534.000
はも	173.000
さば	129.000
いか	113.000
なまこ	86.000
わかめ	51.000
ふか	43.000
えそ	21.000
とびうお	12.000
計	27,531.000

表27 大島郡の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
たい	29,986.000
いわし	27,771.000
その他	10,505.000
いいだこ	5,688.000
なまこ	5,624.000
かれい	4,210.000
つけがい	3,939.000
めばる	3,079.000
いか	2,835.000
たこ	2,166.000
はも	1,506.000
さば	1,225.000
えそ	1,013.000
すずき	914.000
あじ	908.000
ふか	902.000
ほら	621.000
さわら	447.000
えび	169.000
あわび	80.000
このしろ	30.000
ます	24.000
かき	19.000
わかめ	4.000
計	103,665.000

表28 熊毛郡の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
さけ	49,680.000
さば	28,602.000
いわし	28,077.000
たい	18,300.000
たこ	6,677.000
いか	3,722.000
その他	3,340.000
えび	3,011.000
ほら	2,189.000
なまこ	1,831.000
かれい	1,628.000
はも	1,360.000
いいだこ	1,283.000
えそ	1,130.000
あじ	788.000
めばる	703.000
すずき	680.000
とびうお	600.000
このしろ	584.000
さわら	450.000
ぶり	300.000
あわび	80.000
しらす	5.000
かき	4.000
計	155,024.000

表29 都濃郡の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
いわし	14,001.000
その他	10,048.000
たこ	6,151.000
たい	5,553.000
えび	5,503.000
はも	5,388.000
ほら	2,862.000
すずき	2,830.000
かれい	2,578.000
このしろ	2,238.000
えそ	1,476.000
あじ	1,392.000
めばる	1,318.000
いか	990.000
なまこ	908.000
さわら	740.000
ふか	505.000
さば	432.000
とびうお	300.000
いいだこ	110.000
はまぐり	98.000
ぶり	44.000
かき	31.000
計	66,496.000

表30 佐波郡の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
その他	35,817.000
えび	7,417.000
たい	5,438.000
いわし	3,784.000
えそ	3,172.000
さば	1,805.000
ほら	1,386.000
はも	1,249.000
いか	827.000
かれい	783.000
たこ	584.000
すずき	392.000
めばる	300.000
さわら	225.000
なまこ	222.000
しらす	182.000
このしろ	145.000
あじ	100.000
ぶり	70.000
まぐろ	38.000
はまぐり	22.000
いいたこ	20.000
ます	8.000
とびうお	4.000
計	63,990.000

表31 吉敷郡の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
えび	7,954.000
たい	5,294.000
ほら	3,837.000
その他	3,096.000
たこ	1,777.000
えそ	1,483.000
さわら	1,400.000
ふか	1,254.000
このしろ	953.000
すずき	596.000
いわし	515.000
かれい	479.000
かき	204.000
さば	202.000
あじ	168.000
めばる	157.000
いか	143.000
はも	134.000
なまこ	108.000
はまぐり	71.000
計	29,825.000

表32 厚狭郡の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
その他	18,601.000
えび	9,387.000
いか	4,998.000
ほら	4,024.000
たい	2,767.000
たこ	2,421.000
さわら	1,820.000
えそ	1,568.000
はも	1,136.000
このしろ	947.000
かれい	909.000
ふか	506.000
すずき	438.000
いわし	312.000
めばる	163.000
あじ	121.000
さば	75.000
かき	63.000
はまぐり	55.000
なまこ	31.000
計	50,342.000

表33 赤間関市の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
たい	13,450.000
えそ	9,840.000
その他	5,803.000
めばる	2,240.000
ぶり	1,600.000
ほら	1,500.000
すずき	1,360.000
いか	970.000
わかめ	560.000
ふか	400.000
いわし	350.000
このしろ	300.000
なまこ	250.000
たこ	50.000
計	38,673.000

表34 豊浦郡の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
ぶり	38,307.000
いわし	23,381.000
いか	19,513.000
たい	15,842.000
いいたこ	13,410.000
さば	9,897.000
しいら	3,830.000
あわび	3,811.000
その他	2,979.000
まぐろ	2,649.000
ほら	2,249.000
とびうお	2,241.000

わかめ	1,583.000
ふか	1,529.000
さわら	1,085.000
あじ	913.000
えそ	800.000
なまこ	574.000
すずき	340.000
えび	340.000
このしろ	294.000
めばる	249.000
たこ	138.000
ところてんぐさ	122.000
はも	113.000
しらす	55.000
かれい	48.000
はまぐり	34.000
計	146,326.000

表35 大津郡の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
くじら	55,285.000
いわし	29,983.000
いか	10,226.000
たい	10,212.000
さば	9,793.000
その他	6,436.000
わかめ	5,357.000
しらす	4,500.000
いいだこ	4,266.000
あわび	3,129.000
しいら	2,579.000
ぶり	2,171.000
とびうお	1,624.000
あじ	1,369.000
ふか	1,150.000
さわら	1,111.000
かつお	886.000
なまこ	717.000
めばる	437.000
すずき	399.000
たこ	360.000
かれい	277.000
えび	258.000
ところてんぐさ	205.000
まぐろ	112.000
えそ	103.000
ほら	68.000
このしろ	48.000
計	153,061.000

表36 阿武郡の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
たい	40,251.000
ふか	29,311.000
いわし	26,769.000
ぶり	9,969.000
その他	8,896.000
かつお	6,742.000
さば	5,185.000
いか	5,098.000
しらす	3,880.000
さわら	3,458.000
わかめ	3,133.000
あわび	2,640.000
いいだこ	2,472.000
しいら	1,306.000
とびうお	1,198.000
えそ	1,000.000
かれい	974.000
まぐろ	688.000
はも	634.000
あじ	565.000
ところてんぐさ	369.000
めばる	363.000
つけがい	200.000
すずき	164.000
なまこ	154.000
たこ	43.000
かき	30.000
計	155,493.000

表37 見島郡の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
わかめ	2,800.000
あわび	1,800.000
ぶり	1,438.000
その他	1,257.000
たい	1,047.000
いか	396.000
ところてんぐさ	280.000
なまこ	66.000
ふか	42.000
計	9,126.000

表38 山口県の漁獲物別売上額

	(降順 単位：円)
いわし	158,148.000
たい	152,968.000
さば	58,345.000
くじら	55,285.000
ぶり	53,899.000
いか	49,831.000
さけ	49,680.000
ふか	35,642.000
えび	34,587.000
いいだこ	27,249.000

えそ	21,606.000
たこ	21,545.000
ぼら	20,154.000
わかめ	13,488.000
かれい	13,475.000
はも	12,043.000
さわら	10,736.000
なまこ	10,571.000
めばる	10,247.000
すずき	9,485.000
しらす	8,622.000
かつお	7,628.000
あじ	6,858.000
つけがい	6,514.000
このしろ	6,232.000
とびうお	5,979.000
まぐろ	3,487.000
あわび	1,154.000
ところてんぐさ	976.000
かき	351.000
はまぐり	280.000
ます	32.000
その他	114,819.000
計	981,916.000

表39 イワシの郡別売上額

(降順 単位：円)	
大津	29,983.000
熊毛	28,077.000
大島	27,771.000
阿武	26,769.000
豊浦	23,381.000
都濃	14,001.000
佐波	3,784.000
玖珂	3,205.000
吉敷	515.000
赤間関	350.000
厚狭	312.000
見島	
計	158,148.000

表40 タイの郡別売上額

(降順 単位：円)	
阿武	40,251.000
大島	29,986.000
熊毛	18,300.000
豊浦	15,842.000
赤間関	13,450.000
大津	10,212.000
都濃	5,553.000
佐波	5,438.000
吉敷	5,294.000
玖珂	4,827.000
厚狭	2,767.000
見島	1,047.000
計	152,968.000

表41 サバの郡別売上額

(降順 単位：円)	
熊毛	28,602.000
豊浦	9,897.000
大津	9,793.000
阿武	5,185.000
佐波	1,805.000
都濃	1,432.000
大島	1,225.000
吉敷	202.000
玖珂	129.000
厚狭	751.000
見島	
赤間関	
計	58,345.000

表42 ブリの郡別売上額

(降順 単位：円)	
豊浦	38,307.000
阿武	9,969.000
大津	2,171.000
赤間関	1,600.000
見島	1,438.000
熊毛	300.000
佐波	70.000
都濃	44.000
厚狭	
大島	
吉敷	
玖珂	
計	53,899.000

表43 イカの郡別売上額

(降順 単位：円)	
豊浦	19,513.000
大津	10,226.000
阿武	5,098.000
厚狭	4,998.000
熊毛	3,722.000
大島	2,835.000
都濃	990.000
赤間関	970.000
佐波	827.000
見島	396.000
吉敷	143.000
玖珂	113.000
計	49,831.000

表44 フカの郡別売上額

	(降順 単位：円)
阿武	29,311.000
豊浦	1,529.000
吉敷	1,254.000
大津	1,150.000
大島	902.000
厚狭	506.000
都濃	505.000
赤間関	400.000
玖珂	43.000
見島	42.000
佐波	
熊毛	
計	35,642.000

表45 エビの郡別売上額

	(降順 単位：円)
厚狭	9,387.000
吉敷	7,954.000
佐波	7,417.000
都濃	5,503.000
熊毛	3,011.000
玖珂	548.000
豊浦	340.000
大津	258.000
大島	169.000
計	34,587.000

表46 イイダコの郡別売上額

	(降順 単位：円)
豊浦	13,410.000
大島	5,688.000
大津	4,266.000
阿武	2,472.000
熊毛	1,283.000
都濃	110.000
佐波	20.000
計	27,249.000

表47 エソの郡別売上額

	(降順 単位：円)
赤間関	9,840.000
佐波	3,172.000
厚狭	1,568.000
吉敷	1,483.000
都濃	1,476.000
熊毛	1,130.000
大島	1,013.000
阿武	1,000.000
豊浦	800.000
大津	103.000
玖珂	21.000
計	21,606.000

表48 タコの郡別売上額

	(降順 単位：円)
熊毛	6,677.000
都濃	6,151.000
厚狭	2,421.000
大島	2,166.000
吉敷	1,777.000
玖珂	1,173.000
佐波	584.000
大津	360.000
豊浦	138.000
赤間関	50.000
阿武	43.000
計	21,545.000

表49 スズキの郡別売上額

	(降順 単位：円)
都濃	2,830.000
玖珂	1,372.000
赤間関	1,360.000
大島	914.000
熊毛	680.000
吉敷	596.000
厚狭	438.000
大津	399.000
佐波	392.000
豊浦	340.000
阿武	164.000
計	9,485.000

表50 メバルの郡別売上額

	(降順 単位：円)
大島	3,079.000
赤間関	2,240.000
都濃	1,318.000
玖珂	1,238.000
熊毛	703.000
大津	437.000
阿武	363.000
佐波	300.000
豊浦	249.000
厚狭	163.000
吉敷	157.000
見島	
計	10,247.000

表51 トビウオの郡別売上額

	(降順 単位：円)
豊浦	2,241.000
大津	1,624.000
阿武	1,198.000
熊毛	600.000
都濃	300.000
玖珂	12.000
佐波	4.000
計	5,979.000

表52 山口県内漁業者（専業）戸数
(降順)

郡・市	町・村	大字	戸
熊毛郡	上関	長嶋	503
阿武郡	椿郷東分	椿郷東分	471
大津郡	仙崎通	瀬戸崎浦	466
都濃郡	福川	福川	441
大島郡	家室西方	沖家室	366
吉敷郡	秋穂	秋穂	323
豊浦郡	小串	小串	291
大島郡	安下庄	東安下庄	266
豊浦郡	宇賀	宇賀	265
大津郡	仙崎通	通浦	248
豊浦郡	豊西中	安岡	233
厚狭郡	須恵	須恵	231
豊浦郡	神田下	神田下	224
阿武郡	田万崎	江崎	218
大島郡	安下庄	西安下庄	217
阿武郡	山田	山田	202
豊浦郡	角島	角島	200
大島郡	油田	伊保田	200
都濃郡	太華	榑ヶ浜	198
赤間関市	赤間関市	伊崎町	197
豊浦郡	神玉	矢玉	192
大津郡	向津具	向津具下	189
大津郡	向津具	川尻	184
厚狭郡	藤曲	藤曲	184
厚狭郡	生田	埴生	180
佐波郡	富海	富海	177
吉敷郡	西岐波	西岐波	175
都濃郡	大津島	大津島	173
大津郡	三隅	三隅下	173
大島郡	平郡	平郡	170
豊浦郡	豊西	室津下	166
熊毛郡	光井	光井	159
佐波郡	中関	向島	155
阿武郡	奈古	奈古	154
阿武郡	須佐	須佐	148
大島郡	油田	油宇	145
豊浦郡	豊西東	浦田後地	140
大島郡	蒲野	西三浦	135
熊毛郡	伊保庄南	伊保庄南	133
玖珂郡	麻里布	室木	129
玖珂郡	神代	神代	128
熊毛郡	室積	室積浦	123
吉敷郡	井関	井関	121
熊毛郡	佐賀	佐合島	120
都濃郡	豊井	東豊井	118
大津郡	日置	日置上	118
大島郡	久賀	久賀	118
豊浦郡	豊西上	吉見下	118
豊浦郡	神玉	和久浦	115
阿武郡	三見	三見	114
豊浦郡	豊西	吉母	110
熊毛郡	上関	祝島	109
阿武郡	大井	大井	108
熊毛郡	佐賀	佐賀	105
佐波郡	中関	田島	105
厚狭郡	王喜	王喜	104
豊浦郡	阿武郡	阿武郡	103
阿武郡	六島	六島	100
佐波郡	三田尻	三田尻	99
都濃郡	末武南	末武南	97
豊浦郡	彦島	彦島	95
豊浦郡	長府	長府	90
豊浦郡	川棚	川棚	88
大島郡	森野	平野	87
吉敷郡	東岐波	東岐波	87
大島郡	森野	和佐	84
見島郡	見嶋	見嶋	83
熊毛郡	上関	八嶋	81
大島郡	家室西方	西方	81
豊浦郡	豊東前	宇部	79
都濃郡	太華	すくも島	75
豊浦郡	豊東前	才川	75
大島郡	森野	森	75
阿武郡	宇田郷	宇田	74
阿武郡	萩	浜崎	68
大津郡	宇津賀	後畑	68
厚狭郡	厚西	厚西	68
熊毛郡	室津	室津	67
大島郡	小松志佐	志佐	66
大島郡	日良居	浮島	63
玖珂郡	麻里布	柱島	59
熊毛郡	柳井	柳井	59
熊毛郡	室積	牛嶋	58
玖珂郡	鳴門	大島	58
佐波郡	三田尻	新田	57
厚狭郡	高千穂	西高泊	56
佐波郡	牟礼	江泊	56
大津郡	宇津賀	津黄	55
大島郡	家室西方	外入	54
熊毛郡	室積	室積	53
厚狭郡	宇部	沖宇部	51
豊浦郡	粟野	粟野	50
佐波郡	佐波	東佐波令	48
大津郡	深川	東深川	47
大島郡	和田	和田	45
玖珂郡	鳴門	遠崎	44
阿武郡	田万崎	下田万	44
都濃郡	富田	富田	44
都濃郡	戸田	戸田	43
大島郡	和田	小泊	43
吉敷郡	嘉川	江崎	42
吉敷郡	秋穂二島	秋穂二島	42
玖珂郡	灘	藤生	40
阿武郡	奈古	木与	39
玖珂郡	由宇	由宇	39
豊浦郡	清末	清末	39
佐波郡	中関	浜方	37
大津郡	日置	蔵小田	37
大島郡	日良居	日前	37
佐波郡	西浦	西浦	36
大津郡	菱海	伊上	36
吉敷郡	大道	大道	34
厚狭郡	厚南	東須恵	33
豊浦郡	豊東前	松小田	33

佐波郡	牟礼	牟礼	32
豊浦郡	豊西上	永田郷	31
豊浦郡	豊東前	神田	31
都濃郡	徳山	徳山	30
玖珂郡	通津	通津	30
玖珂郡	灘	海土路	29
大津郡	三隅	三隅中	29
大島郡	蒲野	椋木	27
玖珂郡	灘	青木	26
阿武郡	六島	相島	26
玖珂郡	灘	黒磯	26
佐波郡	右田	佐野	25
豊浦郡	豊西	蓋井島	24
阿武郡	宇田郷	惣郷	23
大島郡	家室西方	地家室	23
熊毛郡	浅江	浅江	23
玖珂郡	川下	中津	22
大島郡	冲浦	戸田	21
熊毛郡	麻郷	麻郷	20
豊浦郡	彦島	六連島	17
吉敷郡	名田島	名田島	17
大島郡	蒲野	東三浦	17
大島郡	和田	内入	17
佐波郡	三田尻	三田尻 1	16
玖珂郡	麻里布	装束	16
都濃郡	太華	大島	15
熊毛郡	麻里府	馬嶋	15
玖珂郡	川下	向今津	14
佐波郡	三田尻	三田尻 2	14
大島郡	冲浦	横見	13
都濃郡	末武南	末武下	13
熊毛郡	佐賀	小郡	12
都濃郡	豊井	東豊井	12
大津郡	向津具	向津具上	11
熊毛郡	佐賀	尾国	11
大島郡	小松志佐	小松	11
大島郡	冲浦	出井	11
熊毛郡	伊保庄	伊保庄	10
吉敷郡	嘉川	深溝	10
厚狭郡	宇部	中宇部	9
大島郡	冲浦	日見	9
玖珂郡	川下	車	8
阿武郡	六島	羽島	8
豊浦郡	長府	前田	8
厚狭郡	厚南	妻崎開作	8
大島郡	森野	神浦	8
熊毛郡	島田	島田	7
吉敷郡	嘉川	嘉川	7
厚狭郡	王喜	宇津井	7
玖珂郡	柳井津	柳井津	7
大島郡	日良居	油良	5
大島郡	日良居	土居	5
阿武郡	六島	尾島	4
大津郡	菱海	河原	4
大島郡	冲浦	秋	4
玖珂郡	麻里布	今津	3
熊毛郡	麻里府	別府	3
大島郡	小松志佐	小松開作	3
吉敷郡	井関	佐山	3

玖珂郡	灘	保津	2
玖珂郡	愛宕	門前	2
熊毛郡	平生	平生町	2
佐波郡	華城	植松	1
熊毛郡	曾根	曾根	1
厚狭郡	宇部	小串	1
玖珂郡	通津	長野	1
阿武郡	萩	堀内	
豊浦郡	豊西中	横野	
阿武郡	萩	北古萩	
厚狭郡	厚西	津布田	
玖珂郡	古開作	古開作	
阿武郡	六島	肥島	
大津郡	宇津賀	角山	
豊浦郡	豊西中	富任	
豊浦郡	豊西東	吉永	
阿武郡	六島	櫃島	
豊浦郡	豊西中	福江	
玖珂郡	愛宕	尾津	
玖珂郡	麻里布	和木	
赤間関市	赤間関市	壇ノ浦	
大津郡	深川	西深川	
大津郡	日置	日置中	
大島郡	小松志佐	笠佐島	
都濃郡	末武南	平田	
赤間関市	赤間関市	竹崎	

表53 山口県採藻業者（専業）戸数
(降順)

郡・市	町・村	大字	戸
豊浦郡	彦島	彦島	304
大島郡	家室西方	西方	207
豊浦郡	神田下	神田下	163
豊浦郡	宇賀	宇賀	98
大島郡	油田	油宇	80
大津郡	仙崎通	瀬戸崎浦	57
阿武郡	奈古	奈古	56
豊浦郡	彦島	六連島	50
大島郡	油田	伊保田	50
阿武郡	須佐	須佐	44
大津郡	向津具	向津具下	42
阿武郡	奈古	木与	39
豊浦郡	川棚	川棚	37
大島郡	安下庄	西安下庄	26
大島郡	安下庄	東安下庄	25
大島郡	家室西方	外入	25
豊浦郡	角島	角島	24
大島郡	家室西方	地家室	21
都濃郡	大津島	大津島	20
阿武郡	山田	山田	17
赤間関市	赤間関市	伊崎町	17
豊浦郡	粟野	粟野	17
都濃郡	富田	富田	13
大島郡	日良居	油良	13
豊浦郡	豊東前	宇部	12
豊浦郡	阿川	阿川	11

阿武郡	田万崎	下田万	11	大島郡	油田	油宇	10
都濃郡	末武南	笠戸嶋	8	豊浦郡	阿川	阿川	9
豊浦郡	豊東前	松小田	8	大島郡	冲浦	秋	8
大島郡	日良居	土居	6	厚狭郡	須恵	須恵	8
豊浦郡	豊東前	才川	5	大津郡	宇津賀	後畑	7
大津郡	深川	東深川	4	都濃郡	太華	大島	7
熊毛郡	上関	長嶋	4	都濃郡	福川	福川	7
大津郡	宇津賀	津黄	3	大島郡	安下庄	西安下庄	7
阿武郡	大井	大井	3	大津郡	日置	蔵小田	7
豊浦郡	小串	小串	3	大島郡	家室西方	外入	7
大津郡	宇津賀	後畑	2	熊毛郡	上関	八嶋	6
大津郡	向津具	川尻	1	大島郡	森野	森	6
大島郡	蒲野	西三蒲	1	阿武郡	椿郷東分	椿郷東分	6
				大津郡	三隅	三隅中	6
				大津郡	菱海	伊上	5
				見島郡	見嶋	見嶋	5
				大島郡	日良居	浮島	5
				熊毛郡	室積	室積	5
				大津郡	宇津賀	津黄	4
				豊浦郡	川棚	川棚	4
				厚狭郡	藤曲	藤曲	4
				豊浦郡	豊西中	安岡	4
				大島郡	蒲野	東三蒲	4
				大島郡	冲浦	出井	4
				玖珂郡	麻里布	今津	4
				大島郡	森野	平野	4
				大島郡	三田尻	新田	4
				吉敷郡	秋穂	秋穂	4
				熊毛郡	室積	室積浦	4
				都濃郡	徳山	徳山	4
				吉敷郡	西岐波	西岐波	4
				厚狭郡	厚南	妻崎開作	4
				玖珂郡	鳴門	大島	4
				大島郡	家室西方	地家室	4
				厚狭郡	宇部	冲宇部	4
				豊浦郡	彦島	六連島	3
				玖珂郡	鳴門	遠崎	3
				赤間関市	赤間関市	伊崎町	3
				大島郡	和田	小泊	3
				豊浦郡	豊東前	松小田	3
				阿武郡	山田	山田	3
				大島郡	和田	和田	3
				都濃郡	富田	富田	3
				厚狭郡	生田	壇生	2
				玖珂郡	由宇	由宇	2
				大島郡	冲浦	横見	2
				大島郡	和田	内入	2
				熊毛郡	佐賀	佐賀	2
				豊浦郡	豊東前	才川	2
				大島郡	日良居	土居	2
				佐波郡	西浦	西浦	2
				佐波郡	富海	富海	2
				佐波郡	中関	向島	2
				熊毛郡	浅江	浅江	2
				大島郡	森野	神浦	2
				大島郡	平郡	平郡	2
				熊毛郡	島田	島田	2
				佐波郡	三田尻	野島	1
				都濃郡	太華	すくも島	1
				阿武郡	三見	三見	1

表54 山口県水産製造業者（専業）戸数
(降順)

郡・市	町・村	大字	戸
阿武郡	田万崎	江崎	116
大津郡	向津具	川尻	101
阿武郡	萩	浜崎	95
熊毛郡	上関	長嶋	80
大津郡	仙崎通	瀬戸崎浦	79
都濃郡	末武南	平田	76
熊毛郡	光井	光井	76
豊浦郡	粟野	粟野	70
熊毛郡	伊保庄南	伊保庄南	67
大津郡	向津具	向津具下	64
阿武郡	奈古	奈古	55
都濃郡	末武南	末武下	48
阿武郡	奈古	木与	47
阿武郡	須佐	須佐	43
大津郡	仙崎通	通浦	36
熊毛郡	室津	室津	34
都濃郡	末武南	笠戸嶋	32
阿武郡	田万崎	下田万	31
阿武郡	大井	大井	31
豊浦郡	豊東前	宇部	29
都濃郡	大津島	大津島	26
阿武郡	宇田郷	宇田	25
豊浦郡	小串	小串	25
大島郡	森野	和佐	21
大島郡	家室西方	冲家室	21
豊浦郡	神玉	矢玉	21
大津郡	深川	東深川	21
大島郡	日良居	日前	19
大島郡	安下庄	東安下庄	18
豊浦郡	宇賀	宇賀	16
玖珂郡	神代	神代	16
大島郡	油田	伊保田	16
大島郡	蒲野	西三蒲	15
豊浦郡	神田下	神田下	14
都濃郡	太華	櫛ヶ浜	14
豊浦郡	神玉	和久浦	14
大島郡	家室西方	西方	12
大島郡	冲浦	戸田	12
玖珂郡	柳井	柳井	11
阿武郡	宇田郷	惣郷	11
大津郡	日置	日置上	10

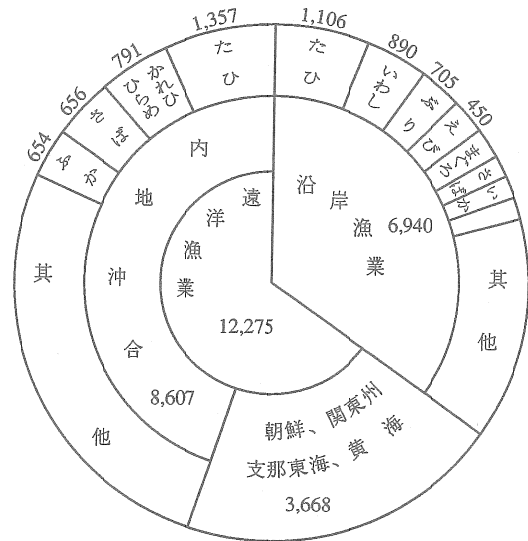
吉敷郡	嘉川	江崎	1
豊浦郡	豊西上	吉見下	1
大島郡	小松志佐	志佐	1
玖珂郡	麻里布	室木	1
吉敷郡	井関	井関	1
玖珂郡	通津	長野	1
大島郡	日良居	油良	1
厚狭郡	厚西	郡	1
吉敷郡	東岐波	東岐波	1
佐波郡	中関	田島	1
大津郡	三隅	三隅下	1
佐波郡	佐波	東佐波令	1
熊毛郡	麻郷	麻郷	1
厚狭郡	宇部	小串	1
豊浦郡	角島	角島	1
玖珂郡	通津	通津	1
厚狭郡	宇部	中宇部	1

むすび

図1は、「山口県の水産」⁹⁾所載の山口県の漁獲高一覧をそのまま引用したものである。この表から明らかなように、山口県ではすでに昭和10(1935)年の段階で、遠洋漁業による漁獲高が全漁獲高の63.8%におよび、逆に沿岸漁業は36.2%にすぎない状態になっていたのである。このことは、山口県では沿岸漁業の占める比率がこの時期には大きく後退していたことを物語るものであるが、これは山口県だけでなく、日本全体で見られた傾向であろう。しかも、この流れがその後の半世紀間に著しく加速されて今日に至ったことを思えば、現在の日本人が沿岸漁業について無知、無関心になってしまっているのも無理からぬところではある。しかし一方では、200カイリ体制の中で沿岸漁業の見直しがかばれ、「海を守れ」という声がいっそう強まっている。はたして、沿岸漁業について無知、無関心のままで環境保護を叫んで、それが説得力のある運動になり得るであろうか。

本稿はこうした状況の中で、私を含めてこれまで沿岸漁業に無知、無関心であったものが、少しでもそれに眼を向けるには、まず第一歩として、どこで何がどれだけとれたかを知ることからはじめる必要があるという、きわめて素朴な考えから、沿岸漁業の最盛期であった明治中期の資料分析を試みたまでである。的はずれの部分も多々あることと思うが、ただ、本稿で「降順」して示した多くの表は、それぞれにさまざまなかたちで今後の研究に利用できるであろう。そう思って、いずれも部分的ではなく、敢えて最上位から最下位までの数値を全て一覧表として掲げることとした。本稿とは違う問題意識からでも、利用して下さる人があれば幸いである。非常に雑駁な報告となってしまうが、先学のご批判とご教示を願ってやまない。

図1 漁獲高一覧
昭和十年(単位:千円)



「山口県の水産」より引用

註

- 1) 二野瓶徳夫：漁業構造の史的展開，平凡社，1981，76.
- 2) 三浦正：日本漁業誌（「水産講座」第2部「漁業編」第1巻），大日本水産会，1949，山口和雄：日本漁業史，東京大学出版会，1957など.
- 3) 山口県文書館蔵.
- 4) 多田穂波：明治期山口県捕鯨史の研究，マツノ書店，1978.
- 5) このことに関しては小川國治：江戸幕府輸出海産物の研究（吉川弘文館，1973）に詳しい。
- 6) 「山口県第十一回勸業年報」は山口県文書館蔵の勝間田家文書におさめられているが、それ以前のは見当たらない。
- 7) 戸島昭；「大津郡捕鯨紛議（1），（2），（3），（4）」（「山口県文書館研究紀要」16，19，20，21）参照。
- 8) 瀬戸内で鮭がとれたとは信じがたいことであるが，明治27年の「山口県第十一回勸業年報」の熊毛郡の項に

のみ鮭がのっている。それ以後の年報にはのっていないし、24年の「水産事項」にも山口県には鮭は記されていない。しかし、これを単なる誤字、誤植とみなすことはできない。というのは、明治28年の「山口県第十二回勸業年報」の備考欄に、前年と対比して、「鮭ハ四万九千六百八十円ヲ減ジタリ」とあり、前年に鮭による収入があったことがここでも明記されている。では、本当に鮭が当時、瀬戸内でとれることがあったのであろうか。この点について、筆者にはまったく論じる能力はないが、「サケ科の一種のアマゴを鮭と記したのではなかろうか」というご教示をくださった方もあるので参考までに記しておく。

- 9) 「山口県の水産」(山口県水産会, 1937) は山口県文書館・御蔭生翁甫文庫におさめられている。

付記 本稿執筆にあたって多くの方のお世話になったが、とりわけ三輪千年氏から懇切なご指導、ご助言を賜った。記して厚くお礼を申しあげたい。